

科目コード／科目名 (Course Code / Course Title)	認知・行動・身体 (Recognition, Behavior and Body)		
テーマ／サブタイトル等 (Theme / Subtitle)	日常生活の認知科学 (Cognitive science in daily life)		
担当者名 (Instructor)	関口 勝夫(SEKIGUCHI KATSUO)		
学期 (Semester)	秋学期(Fall Semester)	単位 (Credit)	2単位(2 Credits)
科目ナンバリング (Course Number)	CMP2400	言語 (Language)	日本語 (Japanese)
備考 (Notes)			

授業の目標 (Course Objectives)

身の回りの心理、認知事象を題材に、我々がどのように世界をとらえているかを認知科学の観点から考察することで、人間の心に興味を持ち、さらに日常生活の経験から自分自身を見つめ直すことができる。

By considering about how we grasp the world from the perspective of cognitive science, using psychological and cognitive events around us as subjects, we will be interested in the human mind and also reconsider ourselves from our experiences in daily life.

授業の内容 (Course Contents)

我々は、世界をありのままにとらえているわけではない。視覚認知の話題を中心に、我々の身の回りの事象に深く関連する認知科学のトピックを紹介しつつ、「心」が外界の情報をどのように処理しているのか解説する。また、関連する他の研究領域の題材や最新の研究トピックも体系的に学び、認知科学の全体を概観する。

We do not grasp the world as it is. We will introduce topics of cognitive science closely related to events around us, focusing on visual cognition, and explain how "the mind" processes external information. Also, students will systematically learn about subjects in the related researches and topics in the latest research. Through these activities, this course will give an overview of cognitive science.

授業計画 (Course Schedule)

1. イントロダクション・認知科学とは
2. 境界の検出・コントラストと空間周波数
3. 図地の分離・群化
4. 知覚的体制化・主観的輪郭・アモータル補完
5. 視覚失認①(相貌失認・連合型失認・視覚形態失認)
6. 視覚失認②(同時失認・統合失認・運動失認)
7. 奥行きを知覚
8. 大きさ・明るさ・色の知覚
9. 運動の知覚
10. 聴覚情報処理
11. 記憶・カテゴリ化・思考・推論・問題解決等の認知科学の諸領域
12. 錯視
13. 視覚的注意
14. 比較認知科学・空間認知

授業時間外(予習・復習等)の学習 (Study Required Outside of Class)

主に講義ごとに出される課題で復習をできるように、講義内で課題内容を指示する。

認知科学的な問題は日常経験するものも多く、問題ではないように思えることでも、突き詰めていくと不思議なことがある。当たり前にも疑問を持てるように、考える癖をつけておくとよい。また、講義内容を日常生活の中で実際に体験・経験し、認知や心の働きを実感しながら復習できることが望ましい。

講義内容で不明な点があれば、遠慮などせず極力質問するようにする。

講義スライドを見ただけでは講義内容を理解することが難しいことを前提に考え、受講時に必ずノートを取り、復習できるようにしておくことを強く推奨する。

成績評価方法・基準 (Evaluation)

筆記試験(Written Exam)(70%) / 小レポート(30%)

講義ごとに出される課題を小レポートとして次回講義時に提出すること。授業欠席、もしくは小レポート未提出のいずれかが1/3以上ある場合は、成績評価の対象としない。

テキスト(Textbooks)

学内 web システム「Blackboard」上において、講義スライド(PDF)を資料として配信し、テキストは特に使用しない。原則、対面授業でおこなうが、大学からの指示でオンライン授業となった場合は講義動画(mp4)もオンデマンド配信する。

参考文献(Readings)

1. 森敏昭・井上毅・松井孝雄、1995、『グラフィック認知心理学』、サイエンス社 (ISBN:978-4781907765)
2. 御領謙・江草浩幸・菊地正、1993、『最新 認知心理学への招待—心の働きとしくみを探る (新心理学ライブラリ)』、サイエンス社 (ISBN:978-4781907048)
3. 大山正・梅本堯夫、2000、『視覚心理学への招待—見えの世界へのアプローチ (新心理学ライブラリ)』、サイエンス社 (ISBN:978-4781909639)

参考文献は購入希望者向けに紹介するものであり、購入する必要は特にない。

その他(HP 等) (Others(e.g.HP))

PowerPoint を使用した講義形式で、視覚教材、映像資料をメインに活用する。

認知科学や心理学の事前予備知識がなくても、受講できるように講義をおこなう。

心理学科開講の専門科目とも重複する講義内容なので、心理学科所属であれば、履修をあまり推奨しない。

非常勤であるため、本学にオフィスがなく、質問等は講義前後やメールで受け付ける。授業内容に関する質問であれば講義内外に関わらず常時受け付ける。受講生への事務連絡に Blackboard を利用する。

注意事項(Notice)